広報あしや

昭和45年 12月5日 第253号

発行所 芦屋市精道町7番6号 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報室 印刷所 オール出版印刷KK 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可（定価2円）

▷芦屋市民憲章◁

わたくしたち芦屋市民は

- ■文化の高い教養豊かなまちをきずきましょう
- ■自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましょう
- ■青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう
- ■健康で明るく幸福なまちをつくりましょう
- ■災害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう

芦屋市の人口と面積

―11月1日推計人口―

人口総数	70,867	世帯数	20,697
男	34,136	面積	16.07km²
女	36,731		

下水道整備の手続き進む

受益者負担の条例案も 市議会で審議中

下水道事業は市政の中でも最も重要な、しかも急いで取り組まなければならない施策です。そこで市は、前号でお知らせしましたように昭和四十六年度から始める「第二次下水道事業計画案」をまとめ、七ヵ年間で懸案の処理場をはじめ、阪急以北の管渠の布設などの建設事業を完成させるために必要な事務を着々と進めています。

「第二次下水道事業計画案」を実施に移していくには、まず関係の法律に定められた諸手続きをとることが必要ですので、昨年から計画の策定と平行して政府、県など関係機関との協議、調整をはかりながらその作業をすすめてきました。すでに「第二次下水道事業計画案」については、去る十一月五日から十八日までの十四日間に市民や利害関係者に対する縦覧を終えました。その結果、意見書の提出もありませんでしたので、この計画案をそのまま芦屋市案として、十一月二十七日兵庫県知事に対し阪神間都市計画（芦屋国際文化住宅都市）下水道の申請書を提出しました。この申請は十二月二十一日に予定されている兵庫県地方審議会にはかられたうえ、県知事の許可を受け正式に都市計画決定されることになります。また一方では、下水道法の規定に基づきこの計画を実施するために建設大臣の事業認可が必要ですので、十二月四日建設大臣に対して第二次芦屋市公共下水道事業変更認可申請書を提出し、その決定を待つばかりとなっています。

これらの法的手続きが終わり、そして下水処理場などの具体的な実施設計書ができ、前号でお知らせした予定事業費約六十九億円の財源計画が決定されて、はじめてこの計画が実施に移されることになります。

財源の一部に受益者負担金を

残る手続きとしては、どのような財源計画を策定するかということです。いうまでもなくこの財源計画の内容には受益者負担金が含まれていますが、下水道事業が重要かつ緊急的な課題であるだけに、この計画どおり事業を実施するためには、どうしてもこの制度を採用せざるを得ないと判断したのです。その理由は、現在の地方財政制度や下水道財政の仕組みのもとでは、現在のように受益者負担金制度を採用せずに事業を実施する場合は、国庫補助金や起債が期待できません。このため、最大限の一般市費を投入しても、その完成までにはなお約二十年余を必要とすることになります。また他の諸事業を一時中止するわけにもいきませんので、下水道施設を早急に完備することは残念ながら不可能となります。そこでこの際どうしても市民のみなさんをはじめ、関係者各位のご理解とご協力を得て、すでに全国百七十都市や阪神間各都市でも採用している「受益者負担金制度」を採用し、七ヵ年整備計画を実現させたいと考えたのです。前号でもお知らせしましたように、この関係条例案について、現在市議会建設常任委員会で審議されており、近く負担金制度採用都市などの現状も調査される模様です。

49年4月処理開始をめざし

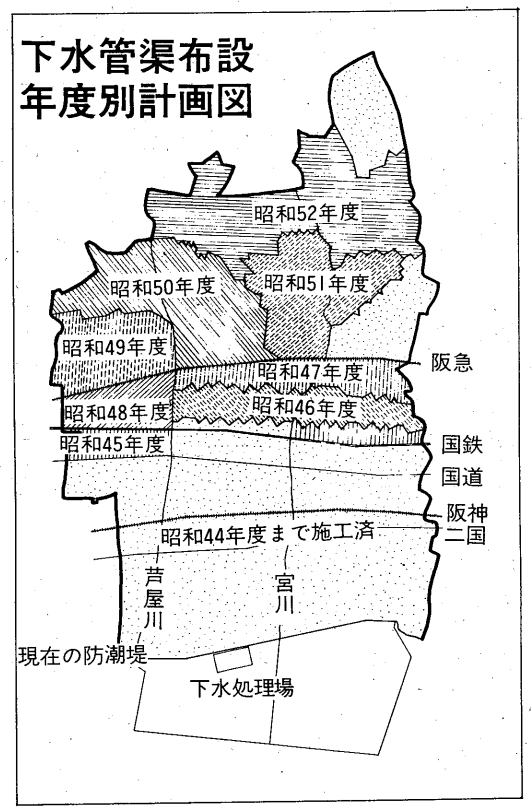
市民各位のご理解とご協力によりこの制度が採用できることになりますと、昭和四十六年四月から左の下水管渠布設年度別計画図のとおり、管渠の布設事業を進めていきたいと考えています。また下水処理場については、四十六年十月に着工、四十九年四月にはとりあえず簡易処理ができるように施工し、五十三年四月には埋め立て地内の下水処理も含めた、科学的な完全高級処理が行なわれることになります。なお、年度別の予定事業費とその財源計画は下表のとおりとなっています。

下水処理場の設計に着手 建設は埋立地内に

兵庫県企業局が行なっている芦屋浜埋立事業は、現在、護岸敷部分の置き換えおよび埋め立て区域内の埋め立て土砂を搬入する海中作業が予定どおり進んでおり、来年三月ごろには下水処理場用地の海面に土砂が露出しはじめ、九月には工事に着手できるようになります。従ってこれに時期をあわせ一日も早く下水処理場を建設して、三大公害の一つである海や河川の水質汚染を防止し、便所の水洗化ともあいまって住みよい都市環境をつくりだすため、先月、下水処理場の実施設計と海底の地質調査をコンサルタントへ委託しました。この設計と調査の結果は、来年九月に下水処理場の模型とともに納入されますが、このほかの管渠や南宮ポンプ場の全面改良工事などの実施設計は、市で行なうことにしています。

埋立工事は順調に進み、来春には海面に土砂が見えはじめます。

下水管渠布設年度別計画図



都市計画変更案の縦覧

都市計画法に基づく地域地区、公園の指定を変更する三案を次のとおり縦覧しています。この縦覧は、変更案をみなさんにご理解いただくため行なっているもので、ご意見がおありのかたは、縦覧期間中にそれぞれ県知事、または市長へ意見を提出することができます。くわしくは市都市計画課でおたずねください。

【阪神間都市計画用途地域ならびに住居専用地区および工業用地区の変更案（知事決定）】縦覧場所―市役所三階の都市計画課か、兵庫県土木部計画課▽縦覧期間―十二月十四日（月）まで▽縦覧時間―午前八時三十分から午後四時四十五分まで（土・日曜とも）

【阪神間都市計画（芦屋国際文化住宅都市建設計画）公園の変更案（知事決定）】縦覧場所―市都市計画課か、県土木部計画課▽縦覧期間―十二月十七日（木）まで▽縦覧時間―午前八時三十分から午後四時四十五分まで（土・日曜とも）

【阪神間都市計画（芦屋国際文化住宅都市建設計画）公園の変更案（知事決定）】縦覧場所―市役所三階の都市計画課か、兵庫県土木部計画課▽縦覧期間―十二月十四日（月）まで▽縦覧時間―午前八時三十分から午後四時四十五分まで（土・日曜とも）

【阪神間都市計画（芦屋国際文化住宅都市建設計画）公園の変更案（知事決定）】縦覧場所―市都市計画課か、県土木部計画課▽縦覧期間―十二月十七日（木）まで▽縦覧時間―午前八時三十分から午後四時四十五分まで（土・日曜とも）

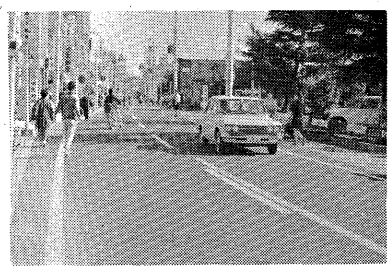
国鉄芦屋駅前通り 舗装終わる

九月から、工事にかかっていた国鉄芦屋駅前北側道路の側溝改修と舗装がこのほど終わりました。交通量の多い道路であるため、バスのう回などご迷惑をおかけしましたが、みなさまのご協力で、予定より早く工事を完了することができました。厚くお礼申しあげます。

完成した道路は、幅八メートルで、側溝の改修に伴い、フタを統一したものにし、歩道のかわりになるようにして、歩車道区分の白線を引きました。交通安全のため、物は鉄骨造り不燃構造の二階建で、一階が倉庫、二階が集会所になっており、地元のみなさんの小集会に気軽に使っていただけるよう、八畳と十畳の和室二へやと台所、便所が設けられています。日吉会館は地元の津知財産区が運営していきますが、使用料金など細部についてはまだ未定です。

側溝の上には物を置かぬようご協力をお願いします。

なお、国道へう回していたバスは、十一月二十一日から、元の路線で運行しています。



予定より早く舗装工事が完成した国鉄芦屋駅前通り

津知町に集会所できる

十一月二十六日、津知町にある日吉神社の敷地内に集会所「日吉会館」が完成しました。この建て

ちびっ子たちに広場のご提供を

先日、市民のかたのご好意で提供いただいた、浜町五十七番地のちびっ子広場（面積約八百五十五平方㍍）に、すべり台、ジャングルジム、ブランコなどの遊具と砂場、ベンチ四基が備わりました。これで市内のちびっ子広場は全部で十ヵ所になりましたが、他の全公園施設との分布状況をみますとまだ清水、前田、大原、東山、三条、三条南各町のあたりには広場や公園など子どもの遊び場がありません。このあたりでいますぐに使われない土地がありましたら、子どもの遊び場にするために市へお貸しいただきたいと思います。ご協力願えます場合は市土木公園課（電話㉛二二一）へご連絡ください。

サンテレビで新年のごあいさつ

元日の午後四時三十分から、サンテレビで市長の新年あいさつと抱負を放送します。ぜひご覧ください。サンテレビは、36・42・48チャンネルで視聴することができます。

年末、年始の休庁

ご用は28日（月）までに

市役所をはじめ市の機関は、いずれも十二月二十九日（火）から明年一月三日（日）まで休庁します。ただし、次の部課は年末も窓口執務または作業をします。

○…市民課、社会課（保険係）は二十九日と三十日（いずれも午前八時三十分から正午まで）

○…水道部は二十九日から三十一日までの毎日（いずれも午前八時三十分から午後四時四十五分まで）

○…衛生部のごみ集め、くみ取りは二十九日から三十一日の正午まで。新年は、ごみ集め、くみ取りとも五日から作業を始めます。

火葬場の使用許可については、日宿直員がいつでも取り扱います。

○…芦屋病院は、二十九日から明年一月三日まで休診します。急患はこの限りではありません。

下水道整備計画予定事業費と財源計画書

（単位 千円）

	計	46年度	47年度	48年度	49年度	50年度	51年度	52年度	53～56年度
事業費内訳									
処理場建設費	3,520,000	220,000	930,000	700,000	430,000	420,000	420,000	400,000	—
管渠建設費	2,131,458	300,000	200,000	200,000	250,000	340,000	422,000	419,458	—
ポンプ場改修費	230,000	50,000	68,000	112,000	—	—	—	—	—
その他事業費	993,640	155,000	50,000	45,000	163,100	56,295	55,875	34,570	433,800
総計	**6,875,098**	**725,000**	**1,248,000**	**1,057,000**	**843,100**	**816,295**	**897,875**	**854,028**	**433,800**
財源内訳									
国庫補助金	1,695,400	156,000	339,000	270,000	204,000	228,000	252,600	245,800	—
起債	2,161,400	198,900	432,200	344,200	260,100	290,700	322,000	313,300	—
受益者負担金	960,064	91,218	105,110	113,727	127,641	149,977	81,899	85,680	204,812
埋立事業主体負担分	538,000 90,000	— 50,000	250,000 —	150,000 40,000	138,000 —	—	—	—	—
一般市費	1,430,234	228,882	121,690	139,073	113,359	147,618	241,376	209,248	228,988

交通事故に気をつけよう

あわただしい年の瀬を迎えます。歩行者も運転者も正しい交通ルールで。特に運転者はお酒の誘惑に負けないように。

火の始末、戸締りは忘れずに

もしものことがあればたいへん

歳末ご用心

おたがいに気をつけましょう

門灯は朝までつけてください

「外を明るく、内を暗く」が防犯の秘けつです。

水道管にもご用心

寒さのために水が凍って出なくなることがあります。布ぎれやなわをまいて水道管にも冬じたくを。

十月に行なった市政世論調査の集計がまとまりましたのでお知らせします。市は市行政運営の基礎となる市民のみなさんのご意見をは握するため、毎年世論調査を行なっていますが、とくに今回は、市の総合計画を策定する資料として、二年前に行なった「総合世論調査」の第二回目も合わせて行ない、前回との変化の状況、すなわち、生活の環境なり市民の意識がどういうふうに変わっているかを追跡してみました。調査にご協力くださいましたみなさんにお礼申しあげますとともに、この貴重な資料は今後の市政に反映させるよう努力いたします。

一千七百人のご意見

市政世論調査集計まとまる　市政の参考に

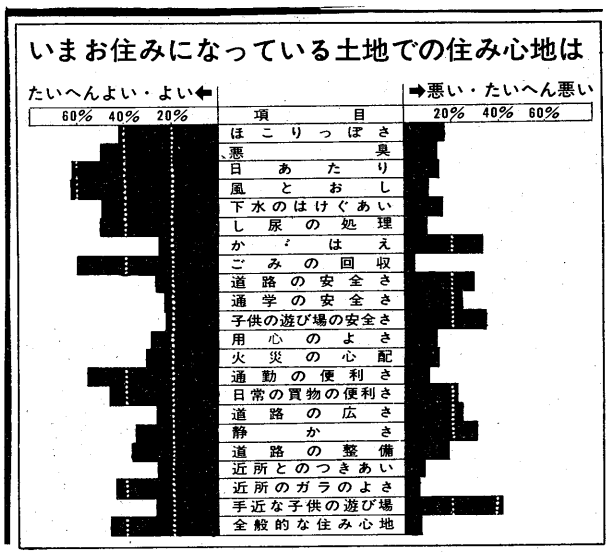
今回の市政世論調査は、住民登録簿に登載されている世帯主の中から無作為に二千四百四十五人を抽出、調査票を郵送した結果、七一・一％に当たる一千七百三十八通の回答が寄せられました。

それでは、このほどまとまった集計の中からその概略をお知らせしましょう。

問　芦屋市にいつごろからお住みですか。

一番多いのが昭和四十一年以降の人で三二・〇％、次いで昭和元年―二十年の一六・二％、同三十六年―四十年の一四・八％、同三十一年―三十五年の一〇・五％の順となっており、戦後、芦屋市民になられた人は七四・一％を占め、明治・大正から芦屋にお住まいの人は七・三％です。また、現住所以前の住所は神戸市二二・二％、市内の他地区一三・四％、西宮市一一・二％、大阪市内一〇・五％となっています。

問　いまお住みになっている土地での住み心地は。



問　日ごろ不便を感じているか、こうしたものがあればとお考えのものは。

要求されている都市施設は、当然地域ごとに異ったものがあげられていますが、これを全市的にみてベスト5をあげますと、一位子どもの遊び場、二位防犯灯、三位公園、四位交番、五位市場となっています。

市内に住み続けたい＝80パーセント

問　現在お住みになっているところに永住したいと思いますか。

この問いに対し、ぜひ住みつづけたいと答えた人は二一・〇％、できれば住みつづけたいと答えた人は三九・六％で、合わせて六〇・六％の人が永住を望んでおられます。さらに、よそへ移りたいと答えた人三一・四％のうち、五九・二％の人が市内での移動を希望しておられますから、これを加えますと約八〇％の人が市内に住み続けたいと望んでおられることがわかります。

問　日ごろ不便を感じていると思われるものはなんですか。

お宅で困っておられる問題があれば、該当するものに○をつけてください。

公害だと感じて困っておられるもののうち一番多いのが騒音で、その原因に自動車をあげた人が五〇・八％、鉄軌道をあげた人が二〇・七％となっています。騒音に次いで多いのは、ばい煙・ガス・ほこり、振動の順で、これらも原因の第一位は自動車です。そのあと悪臭、汚水と続きいずれも河川みぞが原因とする人が一番多くなっています。

公害問題では騒音が第一位

問　市では公害対策に力を注いでいます。お宅で困っておられる問題があれば、該当するものに○をつけてください。

ルナ・ホールでは毎月一回か二カ月に一回、大阪、神戸の専門館より割安な入場料で各種の舞台芸術などを観賞していただこうと考えています。ルナ・ホールでやってほしいと思うものをあげてください。

ご希望の第一位は洋画、ついで文化映画、オーケストラ、新劇、ポピュラー音楽、落語・漫才・講談、日本映画、ピアノ独奏、歌舞伎などが続いています。

問　ルナ・ホールでは毎月一回か二カ月に一回、大阪、神戸の専門館より割安な入場料で各種の舞台芸術などを観賞していただこうと考えています。ルナ・ホールでやってほしいと思うものをあげてください。

ご希望の第一位は洋画、ついで文化映画、オーケストラ、新劇、ポピュラー音楽、落語・漫才・講談、日本映画、ピアノ独奏、歌舞伎などが続いています。

問　ルナ・ホールでは毎月一回か二カ月に一回、大阪、神戸の専門館より割安な入場料で各種の舞台芸術などを観賞していただこうと考えています。ルナ・ホールでやってほしいと思うものをあげてください。

ご希望の第一位は洋画、ついで文化映画、オーケストラ、新劇、ポピュラー音楽、落語・漫才・講談、日本映画、ピアノ独奏、歌舞伎などが続いています。

問　ルナ・ホールでは毎月一回か二カ月に一回、大阪、神戸の専門館より割安な入場料で各種の舞台芸術などを観賞していただこうと考えています。ルナ・ホールでやってほしいと思うものをあげてください。

ご希望の第一位は洋画、ついで文化映画、オーケストラ、新劇、ポピュラー音楽、落語・漫才・講談、日本映画、ピアノ独奏、歌舞伎などが続いています。

問　ルナ・ホールでは毎月一回か二カ月に一回、大阪、神戸の専門館より割安な入場料で各種の舞台芸術などを観賞していただこうと考えています。ルナ・ホールでやってほしいと思うものをあげてください。

ご希望の第一位は洋画、ついで文化映画、オーケストラ、新劇、ポピュラー音楽、落語・漫才・講談、日本映画、ピアノ独奏、歌舞伎などが続いています。

市制施行前後の芦屋　その2

戦災から復興へ

昭和十六年、太平洋戦争がはじまって、順調に発展してきた市勢はまったく自治制が失われていった。二十年八月五日の大空襲は、市民にも市の施設にも大きな打撃を与え、さらに戦争の翌年の六月には駐留軍の市内主要家屋の接収にはじまる住宅難、食料難、交通難、旧体制の解体などにより、市民生活は混乱した。

戦後ただちに着手したのは、公共施設の破損修理、り災者や引揚者の応給住宅の供給などで、同時に戦災都市の指定を受けて復興土地区画整理事業もはじまった。いっぽう、市消防署、警察署などの実現をみたが、地方自治制度の改革や物価変動、それにジェーン台風による被害などで市財政は窮迫の度を加えた。しかし、住宅都市再建への自覚は高まり、二十六年三月「芦屋国際文化住宅都市建設法」が公布されたのである。

二十五年の芦屋市教育委員会設置以後十年間は、学校施設、さまざまな文化活動など文教面の成果をはじめとして、芦屋病院開設、霊園の建設、清掃中継所の完備、市庁舎建設、浜手土地区画整理事業などが苦難の連続の中で進み、市民生活も安定していった。

新しいまちづくり

三十六年以後は、米国モンテベロ市との姉妹都市提携、安全都市宣言、市民憲章や市民文化賞の制定のほか、市民会館施設、住宅、道路などを整備拡充した。さらに四十年から、社会福祉、教育、文化施設の増設、高度地区の指定、奥山貯水池の建設が順次進み、また昨年末以来、県の手で芦屋浜の埋立工事が行なわれている。

人口と住宅

芦屋市はその発足当時、人口四万一千九百二十五人を数えたのが、ことし十月の国勢調査によるとその一・七倍の七万人を上まわった。第二次大戦末期の疎開と戦災で一時減少したほかは着実に増加を続け、芦屋市の現在の人口規模は兵庫県下の市の中で第十位に相当する。

住宅については、市域の総面積に対して宅地は二六・六％だが、農地はわずか一・六％にすぎず、戦後の流入人口は、おもに北東部山ろく一帯での大規模な宅地造によって住宅地化の条件が整えられたことがわかる。なかでも朝日ヶ丘町などの北部地区の区画整理事業は、文化住宅都市づくりにふさわしい目的をもったものであった。現在住宅の数も一万六千二百余戸と増加しているが、これからの課題は、明治以前からの住居地域と戦後の新しい住居地域との調和の問題があげられる。

11月10日の市制施行30周年記念式

「新しい芦屋」の建設へ

都市化時代にふさわしい市民生活の向上のためには、将来の道路整備、とくに幹線道路の建設や埋立地を結ぶ南北道路の改造計画、交通量の増加による公共施設の整備、そのほか消費者対策とか保健衛生対策など、阪神広域圏を考慮にいれた総合基本計画を樹立しその実現にあたらねばならない。

昭和四十五年十一月十日、芦屋市は市制施行三十周年記念式を挙行した。この日、市の木に「松」を、市の花に「つつじ」を選んだことも披露した。芦屋市は、「新しい芦屋」の建設にむかってスタートしている。下水道、社会体育、健康施設の整備、激化しつつある交通災害、公害の問題、消費生活の科学化、まちぐるみの公園化をビジョンとする地域再開発の推進が、これからの施策の中心である。

一年間掲載してきました芦屋の歴史は、本号をもって終わります。

二人の市民の標語が入選

全国下水道促進デー―協賛の懸賞募集

ことしの夏、市の下水道課がみなさんから下水道促進の作文、標語、図画をお寄せいただきましたが、これら全作品をさらに第十回全国下水道促進デー協賛「作文、標語、図画、写真」懸賞募集に応募しましたところ、標語の部で市民二人の作品がそれぞれ入選と準入選に選ばれました。

入選に決まったのは、服部淳子さん（宮塚町）の標語「河川澄む国土を守る下水道」、また準入選に決まったのは槙村啓吾さん（三条南町）の標語「下水道公害なくす第一歩」でした。服部さんのよろこびのことばをご紹介します。

『経済の発展のみに心を奪われ、わたくしたちは人間が自然と調和しながら幸せに生きていくというかんじんなことを忘れていたようです。裏通りの川は汚水でどぶと化しても、流れた水はどこかへ行ってしまうだろう、臭いものにはふたをし、近代化という錦の御旗のもとに表ばかりを飾っていたのではないでしょうか。三年ばかりロンドンで過ごしましたが、下水道は整備され、ほんとうに気持ちのよい毎日でした。

市の係のかたが、下水道工事はいくら労力とお金を投じても、みな地下に埋没するから人目にふれず、その重要性を理解してもらえないと嘆いておられますが、まちづくりの基礎が後まわしになっているのですから、ご苦労なことだと思います。でも、まち中を散策しながら川に泳ぐ魚を眺めることができたらどんなにすばらしいでしょう。世界に誇る美しい山川をたいせつにしたい！　そんな願いをこめてこの標語を作りました。入選のよろこびとともに、下水道完備の日の近からんことを願っています』

なお、お二人が入選された標語の部の全国からの応募作品は一千五百二十八点でした。次に、市の審査で作文の部の入選になった二作品は、その一つを前号に掲載したのに続いて、もう一編をここでご紹介しましょう。

『下水道』

下水道促進の入選作文

宮川小学校5年　池本桂子

「ダダダダダ、ザクザク…」

道路を掘りかえす音。道の半分が深く掘りかえされて、太いコンクリート管が埋められていく大がかりな工事です。何の工事だろうと思って母に聞いてみると下水道をつくっているということでした。

下水道は、わたしたちが洗たくをしたり顔を洗ったりした水や、雨水、水洗便所の汚水、工場廃水などを、下水処理場に送る管のことだそうです。下水処理場では、汚水の中のどろをかき集めたり有害なものを取り除いたりして、水をきれいにしてから海や川に流すようになっているそうです。

だから、下水道の管が埋められると力やハエのすむ所がなくなるし、工場廃水もそのまま海や川に流さずにすむので、伝せん病も少なくなるし、いま問題になっている泳げない海や、しゅう気をただよわす川もなくなると思います。下水道は、わたしたちの環境を住みやすい清潔なものにする、なくてはならない施設です。それで芦屋市は大がかりな工事を続けています。ことし中には、国鉄から南の方は全部下水道が完備されるそうです。これで芦屋市の五二パーセントが完備されます。

それでは、ほかの都市や世界の現状はどうかと調べてみました。日本は、世界の国ぐににくらべあまり整っているとはいえません。さいわい芦屋市は、全市に下水道が完備されようとしていますが、まだまだ完備されていない地区もあります。また、いま伝せん病の流行している国もありますが、そのような国はあまり下水道が整っていないようです。それらの国や都市も、芦屋市のようになるように努力し、みんなが協力すれば、ハエや力がなく、美しく、住みよいまちができると思います。

善意銀行

十月二十一日から十一月二十日までの取り扱い分。敬称略。

預託〔金銭口座〕社会福祉のために二万円、岡田なか▽同千円、和本よし子▽同九千二十円、保健協力会家庭部▽みどり学級のために三千円、三条町いけばなグループ▽老人福祉のために千円、一主婦〔物品口座〕ビニール雨がさ百本、市建設総務課▽その他百九十一点、市民七名の方〔技術口座〕和風園へ茶道の指導、堀江紀

払い出し〔金銭口座〕市身体障害者福祉協会へ、第6回全国身体障害者スポーツ大会援助金として二万円▽市社会福祉協議会へ、同和地区の健康増進機具代として二万八千八百円▽市福祉事務所へ、施設入所者衣料購入費として四千八百十円

ご寄贈　社会福祉のためにと市社会福祉協議会へ。敬称略。▽五百円、茶屋之町一主婦。

みんなのため　あなたのため

預・献血をしょう

年末年始は血液が不足します。あなたの善意と命をつなぎましょう。
12月の預・献血日は18日(金)です。午前10時から午後4時までに市役所前の採血バスへどうぞ。対象は満16才以上60才未満の市民。

12月の子宮ガン検診は16日(水)です。受診料350円をそえて市衛生総務課へ。

歳末　愛の運動

持ちよりは12月10日までに
地域組織代表宅
民生委員宅
市役所分庁舎　社会福祉協議会
のどちらかへお届けください。

あなたの善意を

戦争で学校施設も大被害

芦屋教育のあゆみ

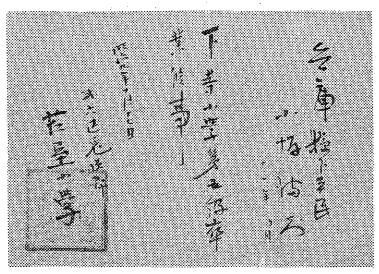
今後も国際人の育成に

今月の一日で、芦屋市教育委員会は発足満二十年を迎えました。これを記念してこのほど発行された二十周年記念誌に、次のようなことが書かれています。「並担な道を歩いていたのでは、今日の芦屋教育の姿はみられなかったといえる…」と。

本号は、近代教育のはじまりとなった明治の学制公布、教育がうけた戦争―終戦の影響、教育委員会設置など、大きな変革を経ながら今日に至った芦屋教育のあゆみをふり返ってみることにしました。

明治・大正期の教育

幕末から明治のはじめにかけて、芦屋村や打出村には私塾や寺小屋があって庶民教育の役割を果たしていましたが、明治五年（一八六二年）八月の学制公布によって衰退しました。九月には芦屋小学校が西芦屋安楽寺（後に開森橋西詰に移る）に、打出小学校が親王寺や妙福寺を仮教場として開設され、近代芦屋教育はスタートしました。明治政府は、文明開化にふさわしい学校教育体系の確立をめざして学制発布を行ないましたが、教育負担も大きく地方の実情にあわなかったので、教育令の公布に続き、十九年になって小学校令や中学校令を公布することによって教育方針も安定してきました。



明治九年芦屋小学校の卒業証書

芦屋小学校も蒐原（うばら）郡第九番学区精道小学校と改称され、現在地に新築移転しました。当時の教職員数は四人、児童数は百四十人でした。校名の精道は西宮の漢学者豊田政苗氏の撰によるといわれています。二十二年（一八八九年）町村制の施行によって芦屋村・三条村・津知村・打出村が合併して精道村が誕生し、精道校の校名をとって村名とすることになりました。二十三年十月には近代教育の基本精神とされた教育勅語が発せられました。精道小学校は二十六年から本庄村（神戸市）との組合立となり、新設の高等小学校との合併によって精道尋常高等小学校に改められました。四十年三月、小学校令の改正によって義務教育年限も六ヵ年になりました。

日露戦争前後の資本主義経済のめざましい発展は、村内教育熱の高まりとともに精道校内に実業教育として三十六年四月に裁縫学校が、幼児教育として四十四年十月に精道村立幼稚園が設置され、校舎施設の拡充が相ついで行なわれました。大正にはいって、十三年（一九二四年）には待望の鉄筋コンクリート三階建校舎十二教室が新築されました。なお、私立幼稚園も十一年に愛光幼稚園、甲陽幼稚園が設けられました。新教育の名をうたわれた私立芦屋児童の村小学校は十五年二月、御影町から芦屋字前田に移転しました。このように学校施設の拡充が明治末期から大正にかけて行なわれたのは、日本の経済機構の形成につれて交通の発達とともに精道村がいち早く阪神間の近郊地として発展を示しはじめた時期であり、児童数も急速に増加したためです。明治五年の児童数三十二人が四十二年には五百五十一人に、大正八年には一千二百三十八人に増加し、教育費も村費中年々高い比率を占めるようになったのです。

昭和期村制時代の教育

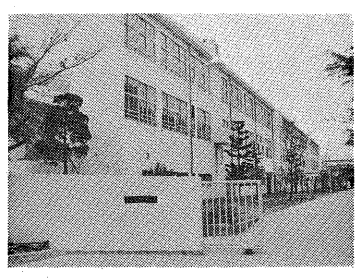
昭和にはいると教育文化都市にふさわしい施設が相つぎ、昭和元年の精道第二尋常小学校（現在の宮川小学校）の設置にはじまり、同高等科併置、商業補修学校（十年に青年学校に改称）の設置、八年四月には山手・岩園両尋常小学校の創立をみました。また体位向上のため精道小学校では早くも給食を開始し、学童急増を解消するための村内の学校配置態勢も整ってきました。九年には宮川・山手・岩園各幼稚園がそれぞれの小学校で開園し、十年に私立崇信幼稚園の設立をみました。このほか十一年十月、私立芦屋高等女学校が六麓荘に、十五年二月、県立芦屋中学校が岩園小学校を仮校舎に設立されました。また特殊教育機関として三田谷治療教育院が昭和二年八月に開設、十三年四月には院内に附属翌ヶ丘小学校が設けられました。

精道小学校の学童疎開（昭和20年7月）

↘科書には軍国主義の絵や文があふれ、戦局が進むにつれて、防空教育や訓練をすることも多くなりました。やがて戦争末期の二十年には精道、宮川両学校の岡山県への集団疎開が行なわれ、疎開先でも食糧難に悩まされたのです。この年八月五日の大空襲は多くの犠牲者を出し、学校施設の八〇％を焼失したのです。疎開先から帰った何百人もの児童が自分たちの学校の焼失をみたのです。戦後の虚脱状況の中、二十一年三月に憲法発布、二十二年三月教育基本法が制定されました。困難な社会情勢下に戦災復旧事業が相つぎ、ことに学校施設の復旧や六・三制の実施による精道・山手両中学校の設置など市財政も窮迫の度を加えたのです。二十三年になると教育委員会法が公布され、二十五年十二月一日、本市の教育上、画期的な芦屋市教育委員会の発足をみたのです。

社会教育については戦前までは全国的にも学校教育偏重のため、活動がふるいませんでしたが、二十四年社会教育法が規定され、公民館が制度化されて活発な動きをみせるようになりました。本市では二十三年三月に芦屋市PTA連合会が発足、二十四年に図書館が仏教会館階上を改造して開館（二十九年に現在地に移転）し、二十八年には公民館が各種成人教育の充実に努力しました。また、婦人会・青年会・スカウト関係団体・美術協会・茶華道協会・ユネスコ協会、読書人クラブ・短歌会・体育協会など社会教育関係団体も多くなり、各種展示会、業平祭や文化祭などのざましい文化活動を展開するようになりました。

いっぽう、学校の復興整備の状況も二十六年宮川小学校の全国最初の文部省モデル鉄筋校舎の完成、二十七年山手小学校モデル校舎、精道小学校鉄筋講堂の完成など驚異的な復興をみたのです。二十九年には精道小学校は全国優良学校特選となり、学校給食も二十六年から完全給食を実施、三十二年には岩園・山手両小学校が学校給食優秀校として文部大臣の表彰を受けるなど、健康芦屋がクローズアップされました。学校施設の拡充ことし宮川小の中校舎ができ、市立学校は全部鉄筋になった。



は更に急速調となり、三十一年から三十三年までに山手小学校鉄筋校舎の完成・山手・精道・岩園各幼稚園の新築、三十九年には小槌幼稚園の創立をみました。また高校進学者の急増対策として市立芦屋高等学校が三十七年、川西町の仮校舎で定員四百五十人でスタート、三十九年剣谷に鉄筋四階建校舎が落成、移転しました。遅進児のための特殊学級も三十五年山手・精道小学校・精道中学校に増置されました。この間、三十四年にはPTAの負担軽減に着手、また芦屋市立学校区域外通学禁止方針が議決されるなど、激しい時代の反映がみられます。

三十年以降になりますと、社会教育も都市化問題・青少年問題や公害問題など市民生活に密着した組織的継続的な学習活動を進めるようになりました。社会教育施設も三十五年から四十四年までにユース・ホステル、市民会館および会館内に移転した公民館、青少年センター、ユネスコ会館、憐保館、市民プール、野外活動センターなどが整備され、それらの施設を中心に成人学校、勤労青年教室、婦人学級、若いお母さん教室、芦屋大学との提けいによる婦人大学講座、同和教育講座、国際理解教育、各種スポーツ教室、視聴覚ライブラリーの活用、自動車巡回文庫など多彩な事業を展開して青少年教育をはじめ、広く成人教育の拡充、婦人グループの育成に努力を続けてきました。今日、公的な社会教育活動に継続的に参加している市内の婦人は一千五百人にもなっています。図書館の蔵書数六万六千冊、利用人員五万四千人、教育委員会へ登録された本市の社会教育関係団体数も百四団体、会員数三万八千五百九十一人の多きにのぼっています。

科学技術の進歩や経済成長によって変動の激しい社会情勢の変化に応じられるように芦屋教育の施策も教育正常化、道徳教育、新しい健康教育などを推進してきました。四十四年十一月に宮川小学校校舎が焼失しましたが、ことし九月復旧工事が完了し、市立学校校舎のオール鉄筋化が完了しました。市内の学校数は公私立含めて大学二、高等学校四、中学校四、小学校五、各種学校十二となり、社会教育施設も十六を数え、文化都市芦屋にふさわしい充実ぶりを示しています。

校園短信

【市芦高】12月12―17日　期末考査、18日　避難訓練
【精道中】12月5―8日　期末考査、15日　生徒会役員選挙、21―24日　期末懇談会
【山手中】12月9―11日　期末考査、9日　三年進学説明会、11日　生徒会役員選挙、22―24日　父兄懇談会
【精道小】12月8日　諸費納入日、16日　低学年期末懇談会、18日　高学年期末懇談会
【宮川小】12月14日　低学年期末懇談会、15日　高学年期末懇談会、23日　校外児童会
【山手小】16日　低学年期末懇談会、17日　高学年期末懇談会、12月23日　創立記念日
【岩園小】12月8日　諸費納入日、16日　低学年期末懇談会、17日　高学年期末懇談会、23日、創立記念日
【精道幼】12月4―8日　個人懇談、7日　誕生会、15日　参観日、18日　クリスマス会、22日　もちつき、23日　大そうじ
【宮川幼】12月9日　誕生会、11日と18日　流感予防接種、17日　クリスマス会、23日　もちつき
【山手幼】12月9日と11日　学級懇談会、21日　クリスマス会、23日　もちつき、大そうじ
【岩園幼】12月1―7日　先生と子どもの話し会い、7―12日　個人懇談会、9日　体位側定、15日　参観日、16日　もちつき、21日　誕生会、22日　クリスマス会、23日　大そうじ
【小槌幼】12月10日　誕生会、11―16日　個人懇談、16日　参観日、22日　クリスマス会、23日　もちつき、大そうじ、学級懇談会
◆終業式…市立高校と幼稚園は12月24日・中学校と小学校は25日。始業式…各学校園とも1月8日。

市民ハイキング

▽とき　十二月十三日（日）雨天中止▽集合　午前八時阪急御影駅▽コース　阪急御影―西谷橋―天狗岩南屋根―六甲植物園―雲ケ谷―シラケ谷―湯槽谷―有馬（解散）▽行程　十五㌔（一般向き）▽会費　一人三十円（交通費は自弁）▽持ち物　昼食、水筒、雨具、懐中電灯▽はきものは運動ぐつか登山ぐつのこと。

図書館だより

読書談話室　十二月十五日（火）午前十時―正午に図書館で、立原正秋著「冬の旅」を話題に話し合います。はじめての方もお気軽にどうぞ。

点字広報の編集会　一月七日（木）午前十時―正午（はじめての人は十一時―正午）図書館で、参加無料。

わたしたちの学園 ⑦

冷たい風に吹かれて落ちていく園庭の葉を子どもたちは、追いかけたり拾ったり集めたりして遊んでいます。水や霜にぬれている葉を「寒い寒い言っている」「お日さまにあててあげよう」と、日の光を見つけて子どもの暖かい気持を通わせてくれます。「大きい声で言ったら風さんに聞こえるよ」と声を潜めて、葉っぱを大きな木の茂みや芝生の中へ隠している姿も見られます。このように、一枚の葉にも子どもが心を動かしている姿を日々見ながら、私たちは、秋の自然を背景に子どもの心をひろげて、充実した生活にとり組ませていきたいと考えます。

精道幼稚園

本年は、芦屋市教育委員会が設置されて二十周年になります。かねてお知らせ申しあげましたように、記念事業として、「二十周年記念誌」を編集いたしました。申すまでもなく、戦後の二十年という、わが国歴史上未曾有の難局の中で、今日の本市教育を築きあげられた先人の跡をしのび、その心として、今後の指針といたす所存でございます。

教育の道は、人をつくるという点で、いつの世にも変りがあるわけはございませんけれども、科学技術の進歩による人間生活の変化と社会の変貌は、実にめまぐるしいものがあり、今後の発展は予断を許されないようにさえ思われます。日本の国に限ってみましても、そのおかれている地位と今後果すべき任務については、国民ひとしく戒心を要するものがあります。

教育委員会設置二十周年

教育長　道盛　正

私どもは、かねてから各方面のご指導とご協力を得て、真に自主性をもった社会人を、日本人としての自覚の上に立って世界平和に貢献し得る人材を育成すべく、「たくましいからだと豊かな心」を外にあるわけではございません。学校教育・社会教育両面にわたって教育施設の拡充強化の必要に迫られています。また、世の進歩に応じて、施設設備の更新を計らねばならない時となりました。特に公害に対してこれが防衛拠除について急を要すると存じます。本市においては、市民の方々のご理解により、常に、教育を優先していただいてまいりましたが、OECDの意見にもありますように、今後一段のご配慮を賜わりますようお願い申しあげる次第でございます。もとより、私どもの関係いたしております教育関係機関におきましても、組織機構に工夫をこらし、管理運営について現代的に整備充実いたしまして、ご期待にそうべく努力いたす所存でございます。

冬休みこども映画会

〈入場無料〉

▷と　き　12月27日（日）
第1回　午前12時から
第2回　午後2時から
▷ところ　ルナ・ホール

働く若人年末のつどい

〈入場無料〉
と　き　12月11日（金）
午後7時半から
ところ　市民会館
内　容　落語、漫才、寸劇、歌、ゲームなど

ユースホステル さよならパーティ

と　き　12月19日(土)～20日(日)
ところ　芦屋ユース・ホステル
会　費　800円
お申し込みは12月15日までに
川西町15－3青少年センターへ

市民カルタ大会

▷と　き　昭和46年1月10日（日）午後1時～5時
▷ところ　市民会館
▷資　格　芦屋市民および市内在勤・在学者
▷競　技　個人戦（中学以下、高校～25才、26才以上）団体戦
お申し込みは参加費100円をそえて、業平町8－24
市民会館内　市立公民館（電話31－4996）へ

人口は七万九百人に

国勢調査の集計から

十月一日現在で、全国いっせいに行なわれた昭和四十五年国勢調査は、いま総理府統計局で集計が進められています。やがて結果が公表されれば、市はさらにデータをくわしく分析し行政に役立たせていく考えです。

5年間で七千七百人の増加

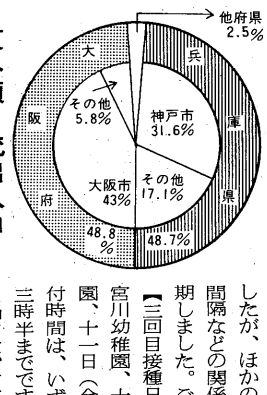
これにさきだって、市文書行政課は本市の人口・世帯数の概数をまとめてみました。その結果、総人口は七万九百三十九人で前回の国勢調査（昭和四十年）の六万三千百九十五人にくらべ五年間で七千七百四十四人（一二・三％）ふえています。これを男女別にみますと、男三万四千百三十二人で三千四百四十五人（一一・二％）増加、女三万六千八百七人で四千二百九十九人（一三・二％）の増加です。男女の構成比（女を一〇〇とした男の比率）においては、九二・七％となり、前回よりもさらに一・七％低下していました。

町別人口では、朝日ケ丘町が一三七・九％と前回の二倍以上の増加を示しましたが、地域別にみましても阪急以北が三六％伸びたのに対し、阪急から南はそれほど伸びていません。これは、北部土地区画整理事業の影響があったものと考えられます。

次に世帯数は二万六百八十一世帯で、前回よりも三千六百三十五世帯（二一・三％）ふえ、一世帯当たりの人員は三・四人（前回は三・七人）でした。また、市外への通勤・通学者、つまり流出人口は二万五千九百六十五人（三六・六％）で、これも前回より三千三百十人（〇・八％）増加しており通勤者の伸びが目立っています。左上のグラフは、これを地域別にあらわしたものです。

七百人の相違

ちなみに、この国勢調査集計概数と九月末現在の住民基本台帳に記録されている市民とをくらべてみますと、台帳記録者のほうが七百人少なく、また世帯数も五百九十一世帯少なくなっていました。実際には芦屋に住んでおられても、台帳に登載されていなければ思わぬご不便、不利益をおかけするもとになります。市の市民課窓口で、必ず正しい届け出をしましょう。



東へ傾く流出人口

市役所へのお問い合わせは
31局－2121番へ

固定資産税第三期は25日までに

固定資産税・都市計画税第三期の納期は十二月二十五日です。お早めに市指定金融機関（市役所内）か、もよりの取り扱い銀行、市内の郵便局のいずれかへ納めてください。

また、国民健康保険の保険料の納付はおすみでしょうか。本年度保険料の納期は、第三期分まで過ぎました。もしお忘れの分がありましたらお早めにお願いします。納めていただくところは、さきの固定資産税の場合と同じです。

三種混合の予防接種日を変更

百日ぜき、ジフテリア、破傷風の三種混合の第三回目予防接種日は先月二十五日から予定していましたが、ほかの予防接種との注射間隔などの関係で、次のように延期しました。ご注意ください。

【三回目接種日】十二月九日（水）宮川幼稚園、十日（木）岩園幼稚園、十一日（金）芦屋保健所。受付時間は、いずれも午後二時から三時半までです。

当日は、すでに郵便でお届けした質問票に記入し、午後の体温を必ずはかってきてくださるようお願いします。

なお、十一月十八日の小児マヒ生ワクチンを服用した乳児は、服用後の期間が短いため、この三回目接種は受けられません。

ツ反とBCG　ツ反検査は十二月十五日、ツ反判定とBCG接種は十七日に、いずれも午前九時半から十一時までと午後一時半から三時までの二回にわけて、芦屋保健所で無料実施します。予防接種個人票には住所と氏名を記入のうえ、母子手帳もお忘れなくご持参ください。小児マヒの生ワクチン服用、はしかや種痘などの接種後一ヵ月以内の人、また、そのほかの予防注射などを受けて二週間以内の人は受けられませんのでご注意ください。

十二月の母親学級　いずれも午後一時から芦屋保健所で。無料。

▽九日…妊娠の生理、栄養、分べんの準備。▽十六日…健康診断（血液型、貧血、梅毒、尿たんぱく、糖などの検査）分べんと産じょく、保育、受胎調節。▽二十三日…歯科検診、健康診断（十六日と同じ）懇談会。

修学資金などの貸付

母子家庭の母、父母のない人、寡婦家庭の二十才以上の人への修学資金・就学支度資金貸し付けの申し込みを十二月十日から来年一月二十日まで市福祉事務所で受け付けます。詳細は同事務所まで。

母子家庭のかたのクリスマス会

母子家庭のみなさんを楽しいクリスマス会にご招待します。参加を希望されるかたは、十二月十五日までに市福祉事務所福祉係へお申し込みください。

クリスマス会は十二月十九日午後五時から八時まで、ルナホール地階の小ホールで開き、ゲームやかくし芸などの企画のほか、プレゼント、夕食も用意しています。

戸籍謄抄本、住民票は郵便でも

市民課では、戸籍の謄本・抄本や住民票の写しなどがご入用のとき、直接窓口へおいでにならなくても郵便による受け付けもしています。郵便の場合は、本籍地、住所、筆頭者、世帯主など必要なことがらをはっきりお書きのうえ、手数料（戸籍謄抄本は一枚につき五十円、住民票は一通につき五十円）と送料をいっしょにお送りください。手数料、送料は郵便切手でもかまいません。

転出・転入、印鑑登録と証明、出生・死亡・婚姻などの戸籍関係の届の場合は、市民課窓口で記載事項の確認などが必要ですから、本人、世帯主または代理人に直接おこしいただくことになっています。このような各種の届で市役所へおいでになるとき、その手続きに必要なものをご存じでないかたは、事前にご遠慮なく電話でお問い合わせください。

お米は配給米か自主流通米を

お米を買われるときは、はっきり品目を指定し、品質が保証されている配給米または自主流通米を登録米穀店から買いましょう。

【政府配給米】内地米（十キログラム当たり価格一千五百二十円）徳用上米（同、一千二百五十円）徳用米（同、一千二十五円）自主流通米はとくに価格はきめられていません。

購入のときには、納品伝票を受け取り、品目と価格の確認を。

米穀通帳　いまご使用になっている米穀通帳は先月末までのものですが、通帳はそのままで使用期間を書き替えるだけでお使いになれます。市役所へおこしのとき、通帳を市民課へお持ちくだされば いつでも書き替えをします。

自衛官募集中　防衛庁では、満十八才以上二十五才未満の日本人男子を対象に、本年度第三次二等陸・海・空士自衛官への応募を十二月三十一日まで受付中です。希望される人は、市役所の市民課管理係、伊丹募集事務所（伊丹市緑ヶ丘の伊丹駐とん地内）のいずれかへおたずねください。

8日に分庁舎で人権問題相談所

ことしも人権週間が十二月四日から十日まで行なわれます。その行事として、十二月八日（火）午前十時から午後三時まで市役所分庁舎三階会議室を会場にして、無料の「人権相談所」を開きます。人権問題でお困りのかたは、ぜひこの機会をご利用ください。

こんな相談も承ります　市役所の玄関をはいったところにある市民相談室は、毎日あるいは定期的に、市民のかたから次のようなご相談に応じ解決の糸口をお教えしています。その際、関係書類があるときはご持参ください。これらの相談も、費用はいっさいいりません。

▼一般相談…毎日（土曜の午後と日曜、祝日は除きます）午前八時半から午後四時四十五分まで。日常生活上のあらゆる悩みごとや相談ごと▼家事相談…毎週水曜の午後一時から四時まで。離婚、養子縁組、相続、遺産など家庭問題全般▼法律相談…毎週木曜の午後一時から四時まで。土地、家屋、金銭貸借など▼人権相談…毎月第二火曜の午後一時から四時まで。人権を侵されているなどの悩みごと▼行政相談…毎月第三金曜の午後一時から四時まで。とくに国や県の行政についての相談▼交通事故相談…毎週木曜の午後一時から四時まで。交通事故全般。いずれも相談室を用意、秘密厳守。

官公署メモ

保健所から

十二月の育児教室　◇八日、生後七～十ヵ月の赤ちゃんのおかあさんのために①赤ちゃんをじょうぶにしよう、②離乳中期・後期食の作りかた◇十五日、生後四～六ヵ月の赤ちゃんの①育児法、②離乳初期食の作りかたを、それぞれ保健婦と栄養士が指導します。どちらも、時間は午後一時半から三時半まで会場は芦屋保健所です。

年末・年始の健康相談日　芦屋保健所での健康相談は、それぞれ次の相談日をもって終わり、また、来年は次の相談日から開始します。受付時間は午前九時から十一時までです。◇一般健康相談…十二月二十五日、一月八日◇三才児心の検診…十二月二十二日、一月五日◇身体障害者療育相談…十二月二十三日、一月十三日◇乳幼児健康相談…十二月二十四日、一月七日。

なお、進学者だけを対象に、来年一月の毎水曜日（ただし六日は除きます）ごとに健康相談日を増設しますから、ご利用ください。時間は同じです。

郵便局から

年賀状は郵便番号を書き22日までに　年末の郵便物は、お早めにお願いします。小包は中味がこわれないよう完全包装をして十二月十五日までに、各種郵便物も十五日までに、年賀状は二十二日までに、市内「兵庫県」「その他」と区分してお出しください。年賀状にはもれなくあて先とあなたの郵便番号（芦屋は六五九）を正しく、はっきりと。郵便番号を書いていただけば、都道府県名は省略できます。また、各戸に家族名も書いた表札か郵便受箱を設置してください。芦屋郵便局では、標準規格の郵便受箱を七百円であっせんしています。お申し込み、お問い合わせは同局（電話㉒三一〇〇）へ。

郵便貯金のご利用を　郵便局は、いま年末郵便貯金特別増強運動を展開しています。師走のご計画の中に、ぜひあなたも、明るいまちづくり国づくりに役立っている安全・有利・便利な郵便貯金、とくに有利な半年複利の定額郵便貯金をご利用くださるようおすすめします。

企業会計の上半期決算

純利益は1,799万円　施設の拡張工事も進む水道事業

上半期決算は、事業収益面で給水収益が当初の予定額をこえ総額13,549万円、事業費用面で異常渇水のために受水費が非常にふえ総額11,749万円でした。しかし、差引1,799万円の純利益となって、一応所期の計画を上まわる業績をあげることができました。事業面では、第4期拡張事業の奥山ダム築造工事がことし中完成をめざして順調に進んでいます。また維持管理面では、能率の向上につとめるとともに車両の買い替えなどによって機動力を強化しています。

昭和45年度上半期損益計算書
（45年4月1日～9月30日　単位円）

Ⅰ営業収益	124,048,510	Ⅲ営業外収益	11,443,518
Ⅱ営業費用	100,375,933	総利益	35,116,095
営業利益	23,672,577	Ⅳ営業外費用	17,118,426
		純利益	17,997,669

昭和45年度上半期貸借対照表
（45年9月30日現在　単位円）

資産の部		負債および資本の部	
有形固定資産	1,042,112,240	固定負債	23,125,248
投資有価証券	128,560	未払金	48,852,517
現金・預金	19,501,582	預り金	42,216,794
未収金	16,004,153	自己資本金	378,005,233
貯蔵品	7,907,494	企業債	519,627,327
保管有価証券	20,300,000	資本剰余金	87,226,332
		繰越欠損金	△11,097,087
		純利益	17,997,669
合計	1,105,954,033	合計	1,105,954,033

患者数ふえた芦屋病院　医療器械の整備進む

総収益は、24,580万円で入院収益や外来収益の増加により前年度同期より12,056万円ふえました。総費用も、給与費、材料費、減価償却費、支払利息などの増加のため12,392万円増の27,642万円で、差引3,062万円の純損失となりました。本年度は、医療器械の整備を重点的に進めたほか、機能訓練室と中央材料室を整備しました。近く、人工腎臓室を新設するよう準備中です。上半期の患者は、入院・外来を合わせて前年度同期にくらべ約2万3千人増の87,677人のかたがたが利用されました。

昭和45年度上半期損益計算書
（45年4月1日～9月30日　単位円）

Ⅰ営業収益	192,854,453	Ⅲ営業外収益	52,946,635
Ⅱ営業費用	257,533,747	総損失	△11,732,659
営業損失	△64,679,294	営業外費用	18,889,481
		純損失	△30,622,140

昭和45年度上半期貸借対照表
（45年9月30日現在　単位円）

資産の部		負債および資本の部	
有形固定資産	678,011,183	未払金	67,299,500
投資有価証券	232,800	他の流動負債	9,187,715
現金・預金	12,023,576	自己資本金	216,837,307
未収金	28,953,831	借入資本金	498,878,155
有価証券	7,860,000	資本剰余金	1,101,000
貯蔵品	8,866,681	繰越利益剰余金	△26,733,466
		純損失	△30,622,140
合計	735,948,071	合計	735,948,071

先月の市内交通事故

11月1日～30日

事故	99件
死者	1人
負傷者	71人

1月から累計の事故 857件、死者 5人、負傷 597人

休日の日直医師

十二月六日　里見医院（耳鼻科）精道町㉒九一八一▽十三日　松永医院（産婦人科）茶屋之町㉒五〇三五▽二十日　重信医院（内科）西蔵町㉒〇三二九▽二十七日　武藤医院（小児科）月若町㉒三八二六▽四十六年一月一日　宮宗医院（内科・外科）西芦屋町㉒五二六四▽二日　花岡医院（内科）竹園町㉒四六〇四と長田医院（内科）清水町㉒四五九二▽三日　都世子医院（内科）浜町㉒四六二四と斉藤医院（内科）津知町㉒二三三四▽十日　丸尾医院（眼科）大桝町㉒四三四六▽十五日　本吉医院（内科）東芦屋町㉒五〇三六

しらず知らずの知識

アルマイトの湯わかし

使用後すぐに穴があいたというアルマイトの湯わかしについての原因は、アルミニュームの腐食です。これは、使いかたが乱暴だったり粗悪品である以外は水の成分による場合が多いわけですから、湯わかしはデザイン、使いやすさ、価格もさることながら、第一に水に強くなければなりません。アルミニュームは、耐食性や耐磨耗性を増すため人工的にその表面に酸化皮膜をつくる、いわゆるアルマイト加工がしてあります。外観の白っぽいのが硫酸皮膜、黄かっ色がしゅう酸皮膜で、しゅう酸皮膜の方が硫酸皮膜よりも二、三倍の耐食性があります。普通のアルマイト製品より磨かれた銀白色の美しいものは、白っぽく見せるために皮膜も硫酸加工ですし、厚さも四ミクロン以上かけられないので腐食も多くなりますから、お買い求めのときにはとくに注意しましょう。

あきかん、あきびん、せともの、針金、鉄くずなど

燃えないゴミの収集予定

町名	12月	1月
西山	9 24	8 25
芦屋	10 25	11 26
山手	9 24	8 25
月若	5 19 31	16 30
三条南	16	15
三条	10	11
西芦屋	11	12
山手	12	13
東芦屋	13	13
東山	14	14
竹園	14	14
呉川	15	15
松浜	15	14
浜芦屋	15	14
西浜蔵	14	13
浜	14	13
春日	8	7
平田東	8	7
平北	8	7
津知	7 22 30	7
川西	7 22 30	7
公光	21	21
大桝	21	20
茶屋	12	20
宮塚	18	9 23
小槌	18	19
若宮	18	19
精道	17	18
宮川	17	18
奥池地区	8 24	12 21
六麓荘	9 24	8 25
朝日ヶ丘	9 24	8 25
楠	11 28	12 27
業平	21 31	20
上宮川	11 28	12 27
岩園	8 23	7 22
翠ヶ丘	7 22 30	21
王塚	18 29	19
親田	21 31	20
前水	18 29	19
清原	10 25	11 26
大戸	15 30	14 29
船内	15 30	14 29
松ノ山	14 29	13 28
東芦屋	14 29	13 28
東山	11 28	12 27
山手	10 25	11 26
三条	16	15
三条南	5 19 31	16 30
月若	9 24	8 25
山芦屋	10 25	11 26
西山	9 24	8 25
打出	17 28	18
川南	17 28	18
鉄道パート	17 28	18
大宮	5 19 26	16 30
伊東	12 26	9 23
竹勢	16 27	15
呉園	16 27	15
松川	15 30	14 29
浜浜	15 30	14 29
浜芦屋	15 30	14 29
西蔵	14 29	13 28
浜	14 29	13 28
春日	8 23	7 22
平田東	8 23	7 22
平北	8 23	7 22
津知	7 22 30	7
川西	7 22 30	7
公光	21 31	21
大桝	21 31	21
茶屋	12 26	20
宮塚	18 30	9 23
小槌	18 30	19
若宮	17 29	19
精道	17 29	18
宮川	17 29	18